

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・活動内容に合わせてスペースを分割できている
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・マンツーマンで対応が必要な児童への対応が必要な日は他の児童への対応が手薄になってしまうことがある。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	・転落防止の壁を設けている ・建物の2階にあるため、完全なバリアフリー化は難しい
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・整理整頓されている
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・カーテンで仕切った静養室がある。 ・事務所でクールダウンしたり宿題などを行えるようにしている。
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・月に一度のスタッフ会議を開催している ・欠席した場合もしっかりとフォロー体制が組まれている。
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・フランクに意見を言いあえる職場環境が構築されている。 ・LINEを活用できていると思う。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・年に数回の研修の機会がある。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	・アセスメントツールの使用について改善点があると思う。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・担当者会議が開催されている。 ・スタッフ間でこどもに対する共通の理解を持っている。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・ケース記録をきちんと取り、計画の立案などに活用している。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	・個別支援計画の中では「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」が立案されているが、具体的な内容ではない。活動内容としても日々の療育の中に「移行支援」「地域支援・地域連携」を組み入れることは難しい。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・全員でアイデアを出し合うシステムができています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	・集団活動に参加することが難しい子どものための個別対応が難しい。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	4	0	・毎回丁寧に活動報告をしてもらっています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・LINEなども活用し情報共有を行っている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・きちんとケース記録、日案の記録を取っている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	・日々の活動の中でバランスよく取り入れることができています。 ・常にすべてを網羅できているとは言えないが、全体的にみて日々の活動に含まれている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	4	・該当する会議に参加要請をうけたことがない。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	・協力医療機関、学校との連携は取れている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2	・下校時刻表の作成が月末ギリギリの学校があり、対応に苦慮することがある。 ・保護者からの下校時刻の連絡がなかなか来ず学校に問い合わせても答えてもらえないことがあり、困った。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・利用計画書や電話で情報共有を行っている。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			・現在該当する事例がない
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	・研修の機会を設けている。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	・積極的な交流はないが、たまたま行き当たった地域のこどもと一緒に遊ぶなど自然な交流はふんだんにある。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	・該当する会議に参加要請をうけたことがない。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・保護者向けの研修会を実施している。 ・送りの際に相談に乗ったりすることは多い。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	

37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、 子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の 利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家 族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援 内容の説明を行い、保護者から放課後等デイ サービス計画の同意を得ているか。	4	0	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っ ているか。	4	0	・個別に相談に対応し、助言など行っている。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会 等を開催する等により、保護者同士で交流する 機会を設ける等の支援をしているか。また、きょう だい同士で交流する機械を設ける等の支援をし ているか。	2	2	・保護者会は開催しているが、共働きのご家庭も多く欠席が多い。 ・きょうだい同士の交流の機会をニーズとして受けたことはなく、そのような機会 を設けたことはない。療育が必要な兄弟についてご利用を希望されることはあ り、対応している。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ているか。	4	0	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS 等を活用することにより、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか。	4	0	・「パネの森だより」（プリント）、ホームページ、ブログで情報発信を行ってい る。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情 報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・絵カードなど活用している
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域 に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	・日々の療育の中でそのようなことをする余裕がない。 ・こちらが地域のイベントに参加させていただくことはあるが、招待などは安全を 担保する面からも難しい。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防 犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定	4	0	・研修、訓練とも実施している。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非 常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか。	0	4	・業務継続計画（BCP）の策定はできていない。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認しているか。	4	0	
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指 示書に基づく対応がされているか。			・現在医師の診断が出ているアレルギーを持っている子供は利用していない。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や 訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管 理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・研修、訓練とも実施している。
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が 図られるよう、安全計画に基づく取組内容につ いて、家族等へ周知しているか。	2	2	・「パネの森だより」やLINEでお知らせしている。 ・より一層の周知努力が必要かと思う。避難訓練をしていないと思っている保 護者が多い。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に 向けた方策について検討をしているか。	4	0	・情報共有のシステムが機能していると思う。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか。	4	0	・研修を実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に事 前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等 デイサービス計画に記載しているか。	1	3	・現在身体拘束を行う可能性のある子どもは利用していない ・規則としては決定されており、研修も行われている。 ・子供や保護者への説明や了解を求めるようなことはしていない。